

さっぽろ環境インタープリター養成プログラム

第7回「好感が持てる伝え方とは」報告

事業名	さっぽろ環境インタープリター養成プログラム 第7回「好感が持てる伝え方とは」
講師	気象キャスター・気象予報士 菅井 貴子氏
実施日時	平成 27 年 11 月 4 日(水) 18:30~20:30
実施場所	環境研修室 1. 2 (札幌エルプラザ 2 階)
参加人員	22 名
実施の様子	<p>【地球温暖化問題って、何が問題？】 田尾政敏氏講演</p> <ul style="list-style-type: none">■ 菅井氏講座の前に地球温暖化の基礎知識について田尾氏が講習。温暖化による影響と今後の展開予測についてお話しした。■ すでに温暖化が進んでいる中で、地球内の環境サイクルを正常化するためには時間がかかるため、早期に対策を実施することが必要である。 <p>【好感が持てる伝え方とは】 菅井貴子氏講演</p> <ul style="list-style-type: none">■ 異常気象は地球の悲鳴で天気は地球の言葉。 気候変化の身近な事例として北海道で記録した具体的な気象事例をクイズ形式で紹介。■ 好感が持てる話し方で心がけていることとしては、<ul style="list-style-type: none">・情熱を持って話をする・背景にある知識、情報を学ぶ・押しばかりではなく引くことも大切・話をするスピードを意識する・話をするだけでは意外と伝わらないもの。視覚に訴える方法も工夫するなどをお話いただいた。■ 天気予報の見方として等圧線の見方をレクチャー。 北海道は寒冷化に向かっているよう。冬の天気図では北からの等圧線の本数により天気の崩れ方を予測することができる。   